

事業所名 アシスト・ケア（宝ヶ丘）（第16回）

運営推進会議開催報告書

開催日時 令5年3月19日 14時00分～14時30分	
参加者	議題
利用者 1名	①前回の運営推進会議の振り返り②事業所の特色③利用者の構成④職員資質向上の取組み⑤苦情、事故、ヒヤリハットの事例⑥事業所で内外での活動⑦ボランティアとの連携⑧避難訓練⑨地域から課題や要望⑩その他
利用者家族 0名	
地域住民の代表者 2名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 2名	
会議録	
<p>1 15回（9月）運営推進会議の振り返り 災害や非常時の時に事業所としてどのようなことが出来るのか？ →福祉避難所として瀬戸市と提携を結び、非常時には障害者や高齢者が避難できる場所として提供出来ます。</p> <p>2 事業所の特色 半日の運動特化型デイサービス。マシン・マッサージ・集団運動・歩行訓練を行う事で、高齢者でも無理のない筋力維持をすることが出来ます。 ・マシン運動は、日常生活動作（歩く・立ち上がる・座る・物を採る）を模したものです。立ったり座ったり、物を取る時の動作、浴槽を跨ぐための反復動作をすることで日常生活がスムーズに行えることを目的にしています。 マシンを使用して入浴時の浴槽を跨ぐ開脚運動や、棒を使用して開脚運動を行っています。 ・歩行訓練、ウォーキングマシン、足首回し、自転車漕ぎについては個々に、回数、時間の目標を設定して利用者さんの意欲を引き出し、運動の機会を増やす取り組みをしています。</p> <p>3 利用者の構成 利用者数約100名 男女比3対7 平均介護度1 平均利用者 日/15名 週に2回程度のご利用が多いです。</p> <p>4 職員資質向上の取組み ・外部研修、研修費用を一部会社負担にて受講 ・介護福祉士合格に向けて2段階の費用補助</p>	

・介護予防教室（バランスボール）の運動に参加することで、参加者側の気持ちを感じ、指導方法を学んでいます。

・3か月毎の定期的な社内ミーティングによる情報共有や移乗等の勉強会

5 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

→集団体操時の座位にて意識喪失、嘔吐、緊急搬送。受診後、医師より「水分不足」と指摘された。

→機械に躓いて転倒。左膝打撲。受診無し。

→玄関の外にでてしまった。

→体操時に道具を拾おうとして椅子から転倒。

6 事業所内外での活動

・月に1回、障害者福祉施設よりパンの販売に来て貰い、希望者のみ購入。

移動スーパー「はじまる」にて商品の販売

7 ボランティアとの連携

フルーツによるクリスマスコンサート

8 避難訓練 9月・3月（3月19日実施）

「北側出入口より火事」の想定：南側非常口より自立歩行の方を優先的に誘導。歩行不安定な方は、南側入り口より誘導。

前回の課題として、誰を優先するのか検討した結果、自立度の高い方から優先して誘導したところスムーズにできた。

9 地域から課題や要望

なし

10その他